

# 合併特例債は、本当に「最大のメリット」か？

暮らしや福祉の充実には使えず、新たなハコモノづくりの財源。今まで以上に借金まみれの町になる危険性があります。

## 合併特例債で、新たな負担31億円に

広報「みはま」では、合併の「最大のメリットは財政面の」

「合併特例債の償還額の約7割を10年間国が地方交付税として助成してくれます。」と掲載しています。

2町が合併した場合の合併特例債の総額の限度額は14億6700万円。その内、81億8千万円を使用するとしています。

その結果、新市の自己負担分(5%)と、残る95%の合併特例債の内3割は借金となり、それらの合計は31億円余にもなります。

こんなことをしていたら、町財政を健全化するどころか、

### 農家のみなさん

**農地にかかる税金が2・24倍に  
みなさん、辛抱できますか！**

「合併したら、新しい市になる」ことが当然のように言われていますが、第1回の合併協議会で、「なぜ、町のままではいけないのか」と疑問が出されました。

市になった場合、大きな影響を受けるのが農家のみなさんの、農地にかかる税負担です。

美浜・南知多両町の、市街化区域内の土地では、  
宅地 478万㎡  
雑種地 76万7千㎡

ますます財政破たんを深刻化させるだけです。

さらに問題なのは、この合併特例債は、住民の福祉や暮らし、町の赤字の補てんなどに使える財源ではなく、あくまで新市にかかわるハコモノ中心にしか使えないものです。

齋藤町長は、合併協議会でも決まっていらない、合併特例債の使い道に、奥田地区区画整理・河和中学校武道館・奥田保育所などを勝手にあげて町民に説明していませんが、確認もされていない絵空事しか言いようがありませんし、町民の歓心を引くための勝手な言い分にすぎないものです。

農地 100万2千㎡  
(内訳＝美浜町 57万2千㎡、南知多町 43万㎡)  
となつています。

この市街化区域内の農地に、現在は1㎡当たり42円課税されていますが、市になりますと1㎡当たり94円となり、現在の約2・24倍となります。

合併して市になれば、美浜町の農家のみなさんには、新たに総額2766万円余の増税となります(5年間は猶予)。

# 水道料金は、合併後値上げ？

## 合併時は、現行通り 3段階の料金で

12月に開かれた住民説明会で、「水道料金については、現行どおりとし、新市において企業努力の中で調整を図っていくものとします」と説明がありました。

美浜町(2530円)、南知多町の半島部(2820円)、離島部(4140円)の3段階の料金設定と説明されました。

これは、1カ月に20トン使用した場合の料金です。

しかし、新市になった時点は、3段階ですが、その後、水道事業の経営状態によって料金改定(料金値上げ)すると言っています。

### 同一市内の3段階 料金いつまで続く！

合併して、一つの市になったときに、別々の料金で住民はいつまでガマンできるでしょうか。

南知多町では平成13年度まで、半島部と離島部は、別々の独立会計で行っていました。

その後、同一の会計で別々の水道料金が設定されていました。

合併の話が出なければ、平成17年度から、同一料金にする予定でした。同一会計にして、4年目の計画でした。

現行の水道料金(20トン/月)

	美浜町	南知多町	離島
20トン	2,530	2,820	4,140

### 南知多の水道事業 経営は大丈夫か？

南知多町の水道事業会計の借金(地方債)は約25億円あり、平成45年までの返済計画を立てています。(美浜町の借金は約1億円)

大きな借金を抱えた合併となり、料金改定(値上げ)が必至の状況です。合併時に、現行通りの3段階の料金でスタートしたとしても、合併後、水道料金の値上げは時間の問題です。

両島の人も、いったんは同一料金になって、事実上、水道料金が引き下げられると期待が高まっていたのに、合併話の中で「現行通り」とされてしまったことに、不満と失望の声広がっています。

### 合併協議は出直し！

新市名称アンケートは、住民投票の結果を見てからでも遅くはない！